H28.10. 24版

資料5

工事事故の発生状況について

平成２８年11月

北陸地方整備局

※本資料は、国土交通省、北陸地方整備局が作成した資料等により構成されています。
また、数値については速報値であるため、今後変更する場合があります。

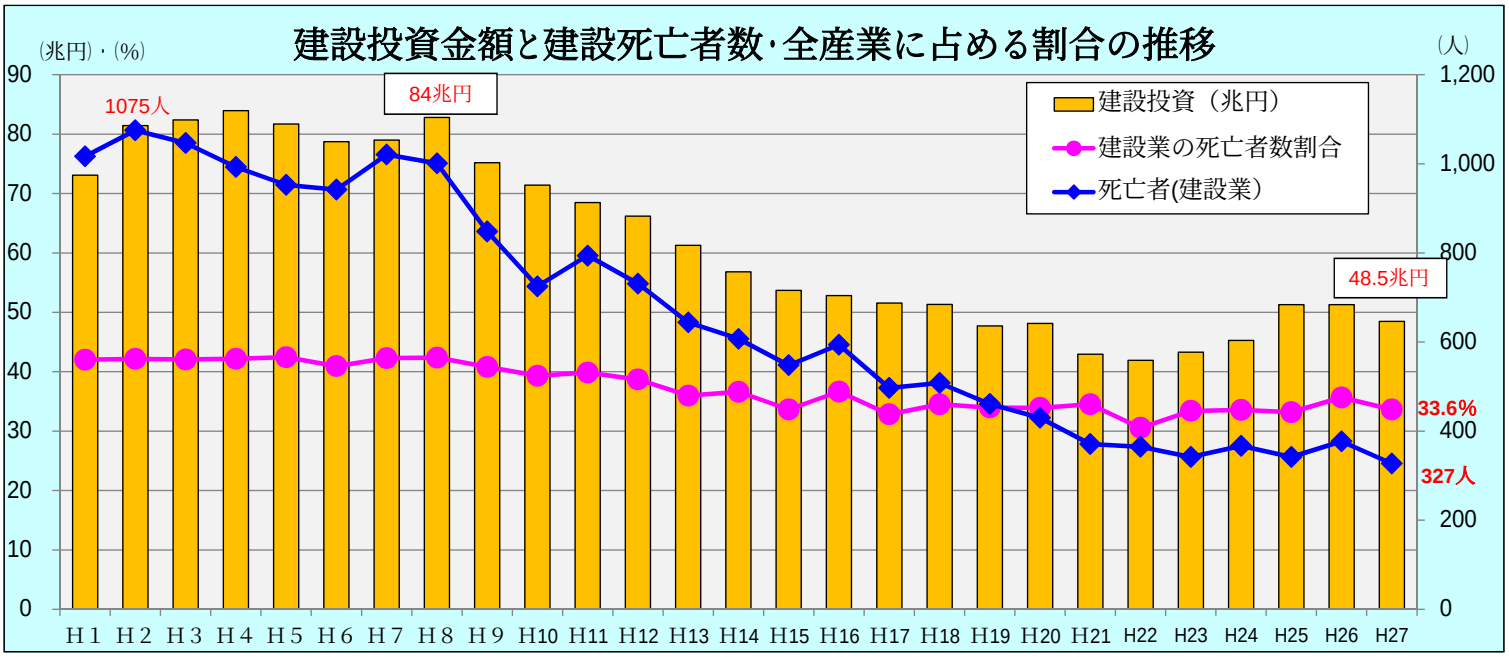
北陸地整

1. 全国の事故状況
2. 北陸地整管内の事故発生状況
3. 事故事例
4. その他

1. 全国の事故状況

全国の建設死亡者と建設投資の推移

・平成元年から平成２７年の建設業の死亡者数の推移は、平成２年の**1075**人から、平成**27**年の**327**人とピーク時の１/３になっている。また。**H26**年より**50**人減少している。
・全産業の死亡者数に占める建設業の割合は、４０％～３０％の間で推移しており、全産業に占める建設業の死者の割合は、高い比率のまま推移している。



※資料：厚生労働省　労働災害統計より
※資料：国土交通省「建設投資見通し」より

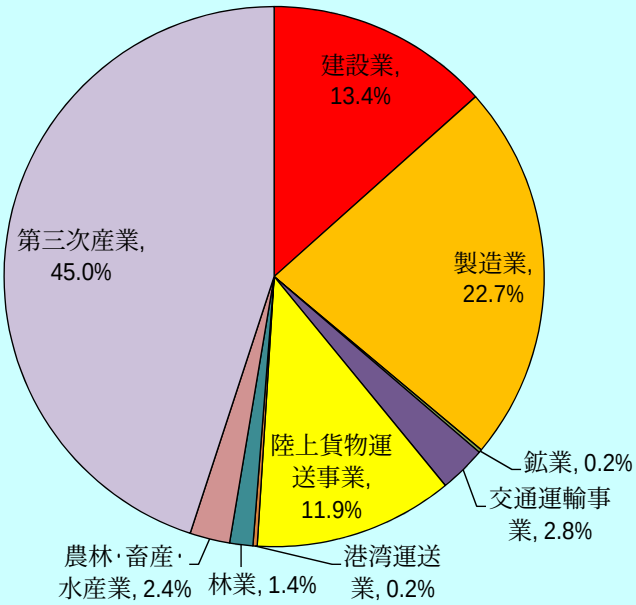
平成２７年　全国の死傷事故状況

北陸地整

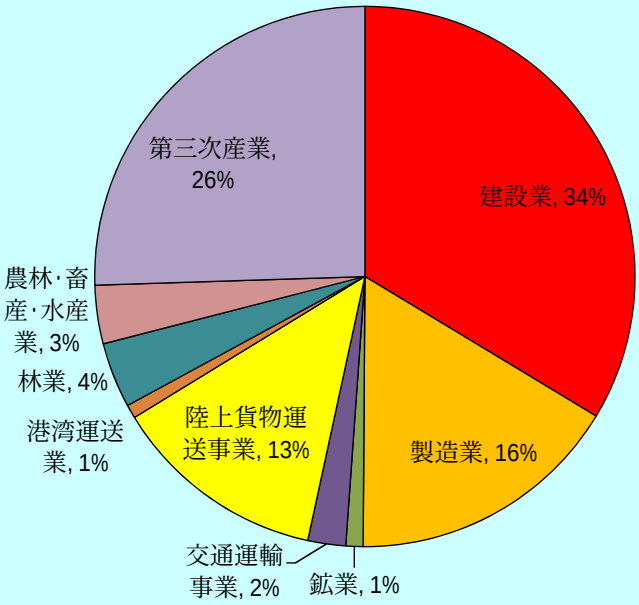
・全産業に占める、建設業の死傷者数は１３％であり、製造業の２３％より低い。

・死亡者数は全産業(972人)の34%(327人)を占め、全産業の中でワースト1。

H27 業種別死傷者の割合



H27 業種別死亡者の割合



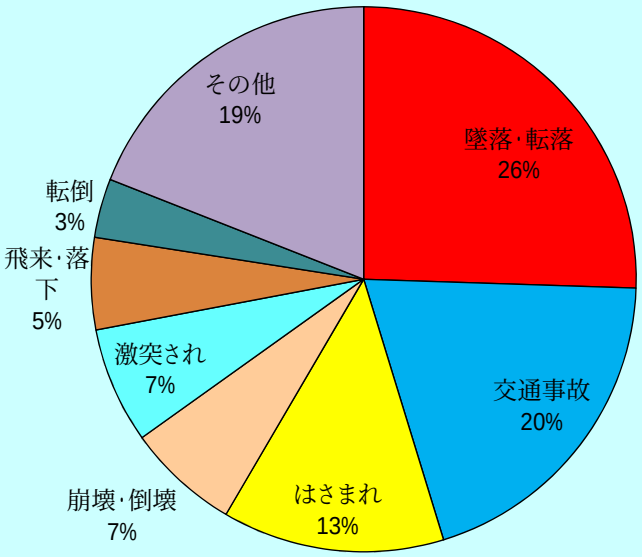
※資料：厚生労働省　労働災害統計より

平成２７年　全国の死亡事故状況

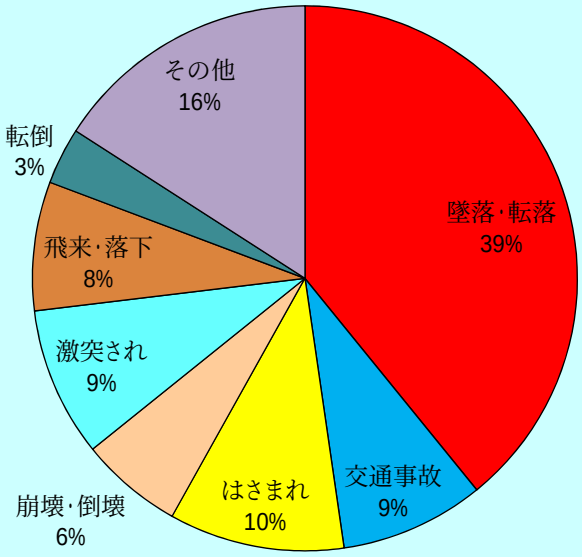
北陸地整

・全産業の死亡事故の原因では墜落・転落が２６％、交通事故が２０％と多い。
・建設業の死亡事故の原因では、墜落が３９％(128件)、交通事故が9%(28件)と、
墜落・転落の比率が全産業内でも特に多く発生している。

H27 死亡事故発生原因別（全産業972人）



H27 死亡事故発生原因別（建設業327人）

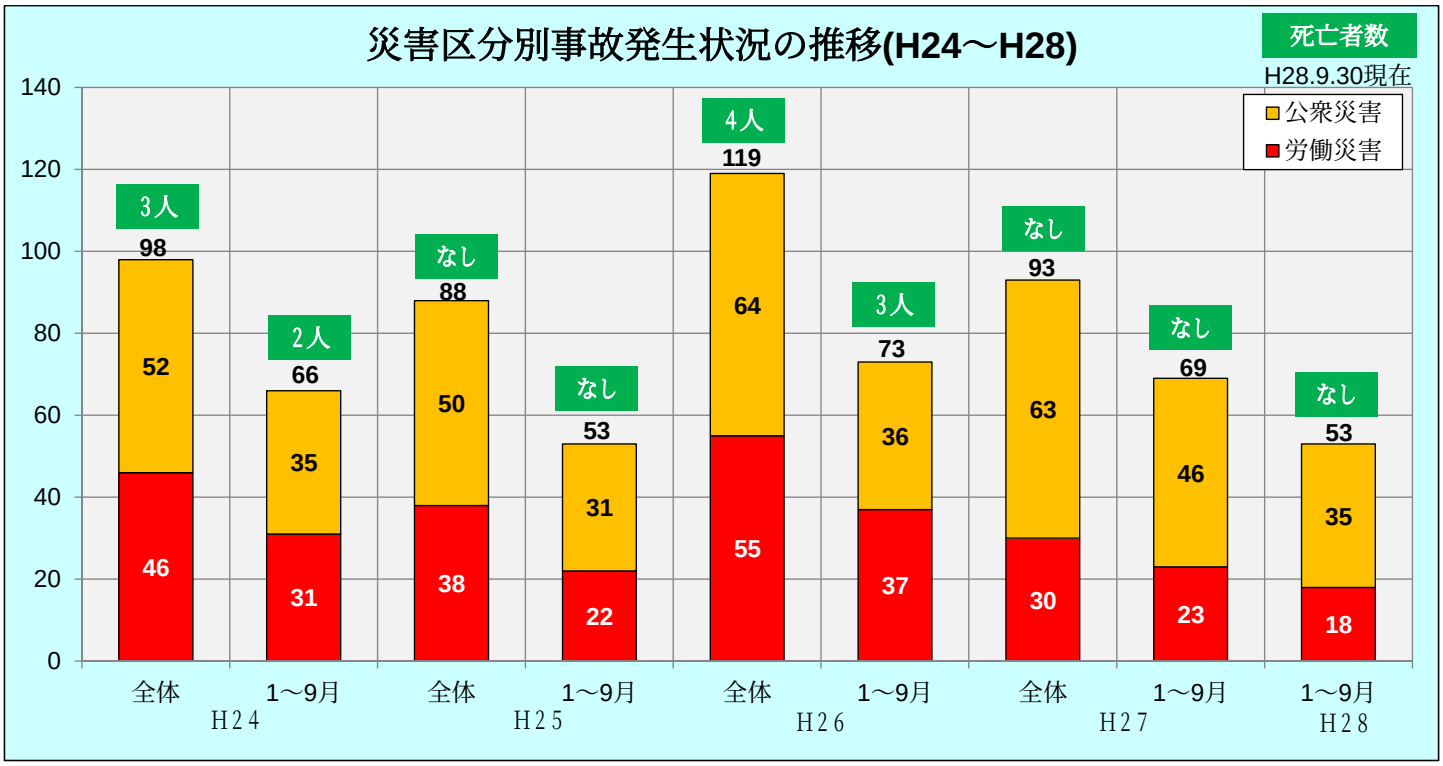


※資料：厚生労働省　労働災害統計より

2．北陸地整管内の事故状況
(H28.9末現在速報値)

事故発生時期別の状況

・H28．9月末までの工事事故件数は53件と過去5カ年で最も少なくなっている。
・労働災害は18件と過去5カ年間で最小となっているが、公衆災害は35件と昨年よりは減少しているが過去5ヵ年と同等。

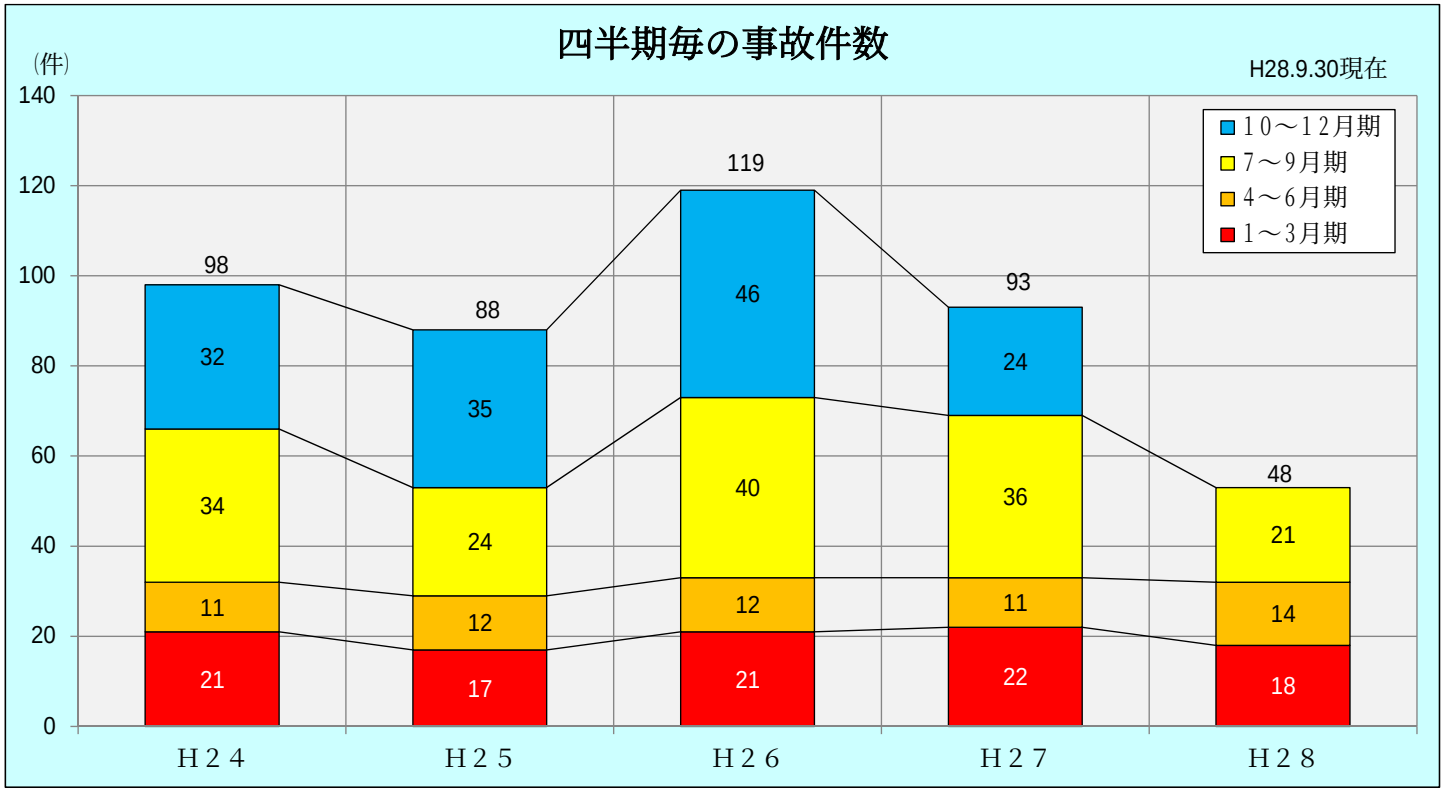


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

四半期別の事故発生状況

北陸地整

・9月末現在を比較すると、H28は4～6月期の件数が増加しているが、7～9月期の事故件数が過去5ヵ年で最小となっている。



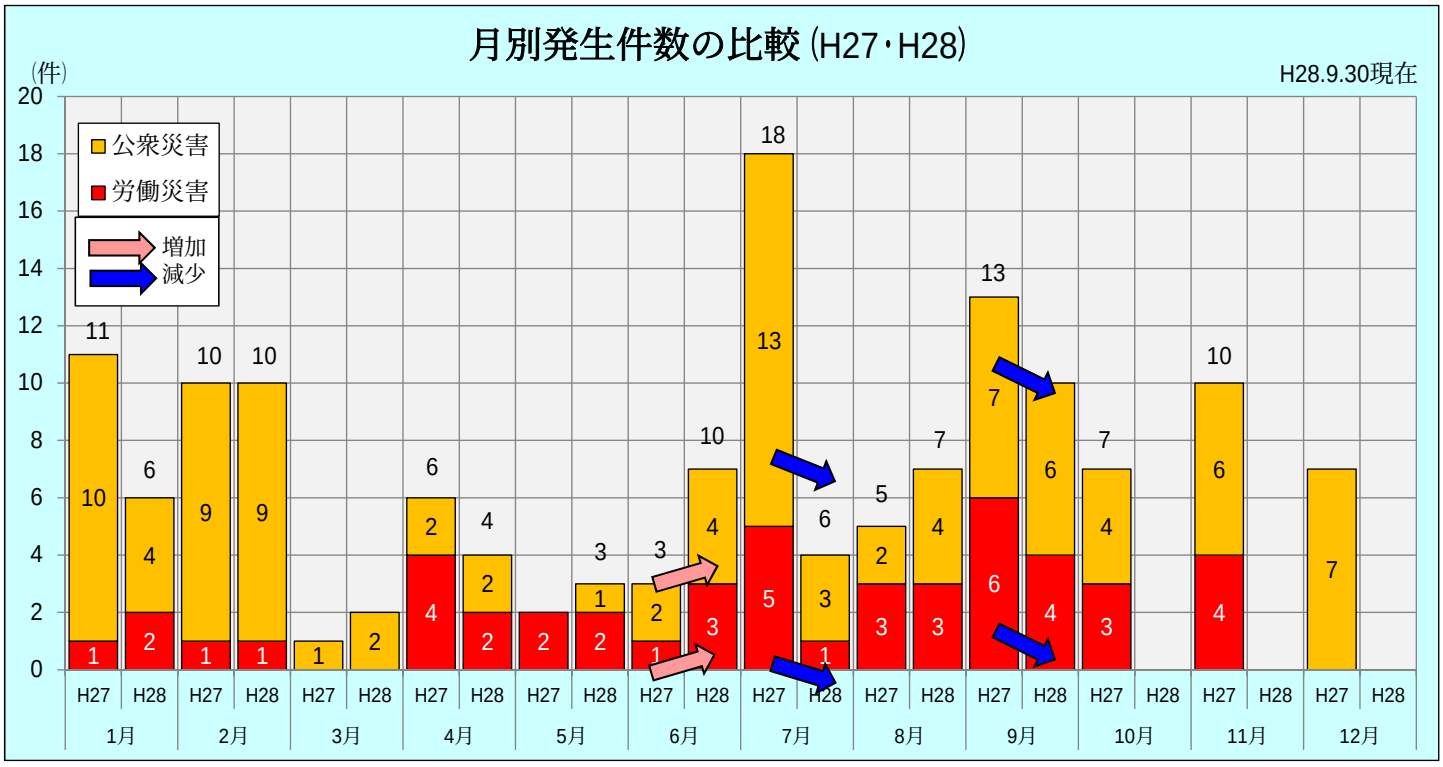
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

月別の事故発生件数

北陸地整

・H28とH27の月別事故発生件数を比較すると、6月は労働・公衆災害とも増加しているが、7月、9月は減少している。



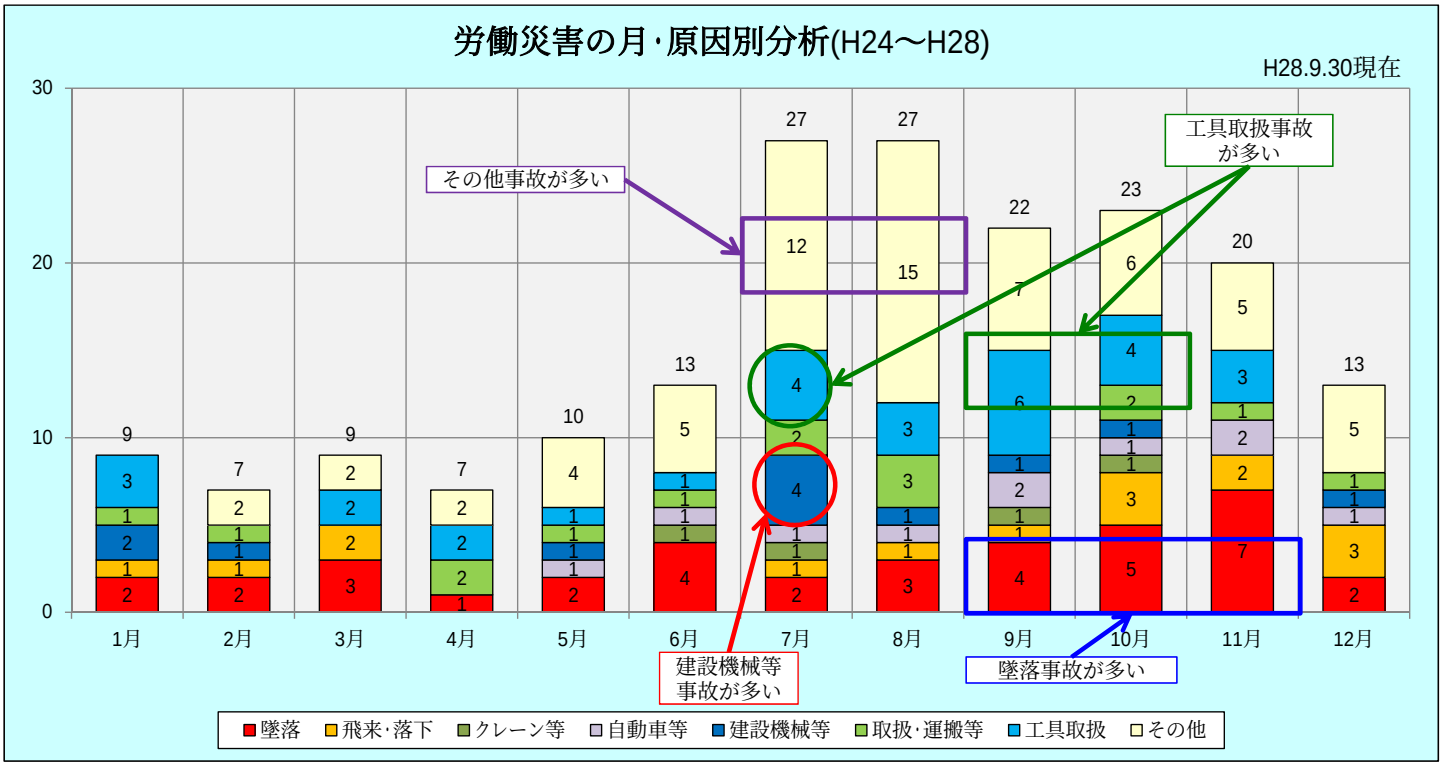
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

月別・原因別の事故発生状況（労働災害）

北陸地整

・H24～H28の事故を原因別で見ると、墜落事故は9～11月に多い。
・建設機械等事故は7月、工具取扱事故は7月、9月～10月に多い。
・7月～8月は、熱中症、移動中の躓き等のその他事故が多い。



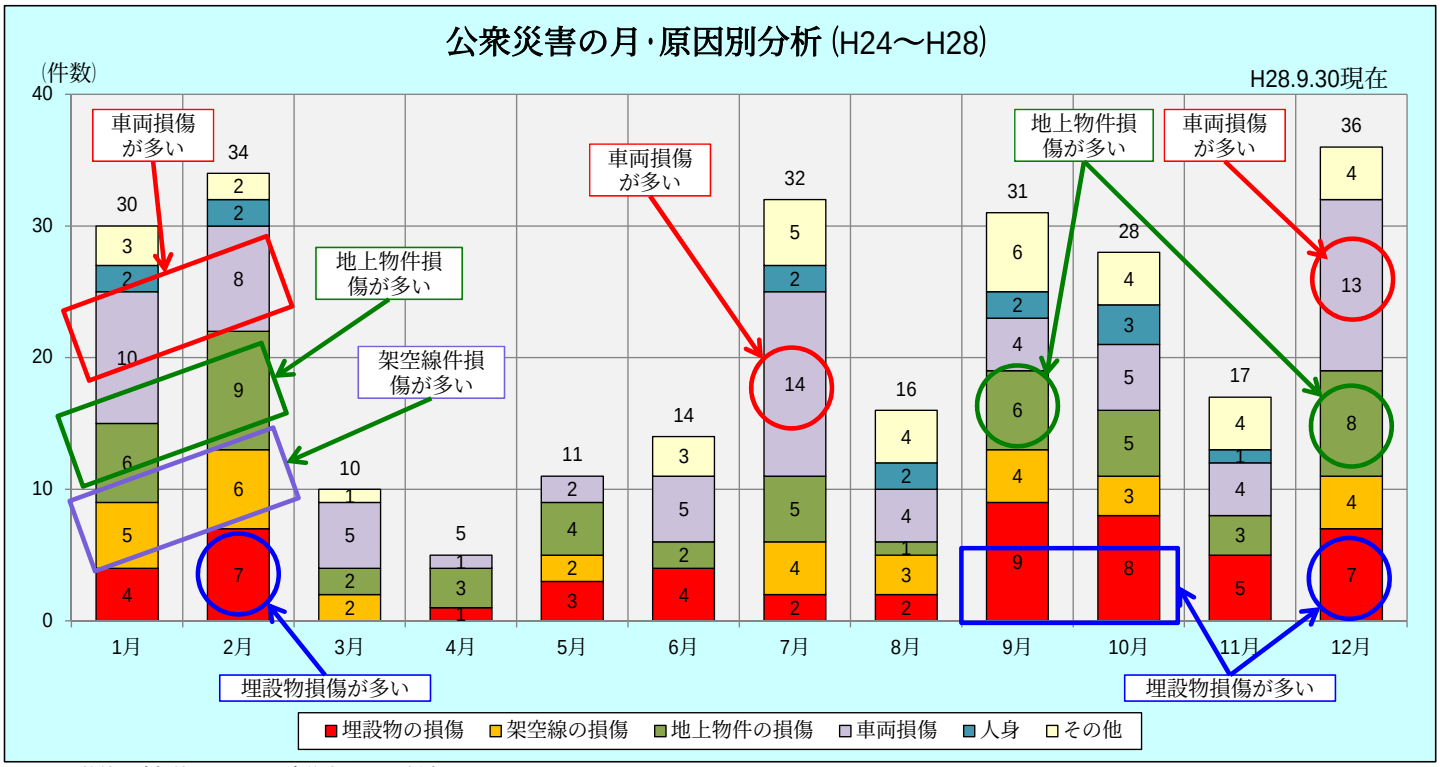
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

月別・原因別の事故発生状況（公衆災害）

北陸地整

・H24～H28の事故を原因別で見ると、埋設物損傷は9～10月、12月、2月に多い。
・車両損傷は7月、12月～2月に多く発生している。また発生件数も多い。
・地上物件損傷、は9月、12月～2月、架空線損傷は1月～2月に多い。



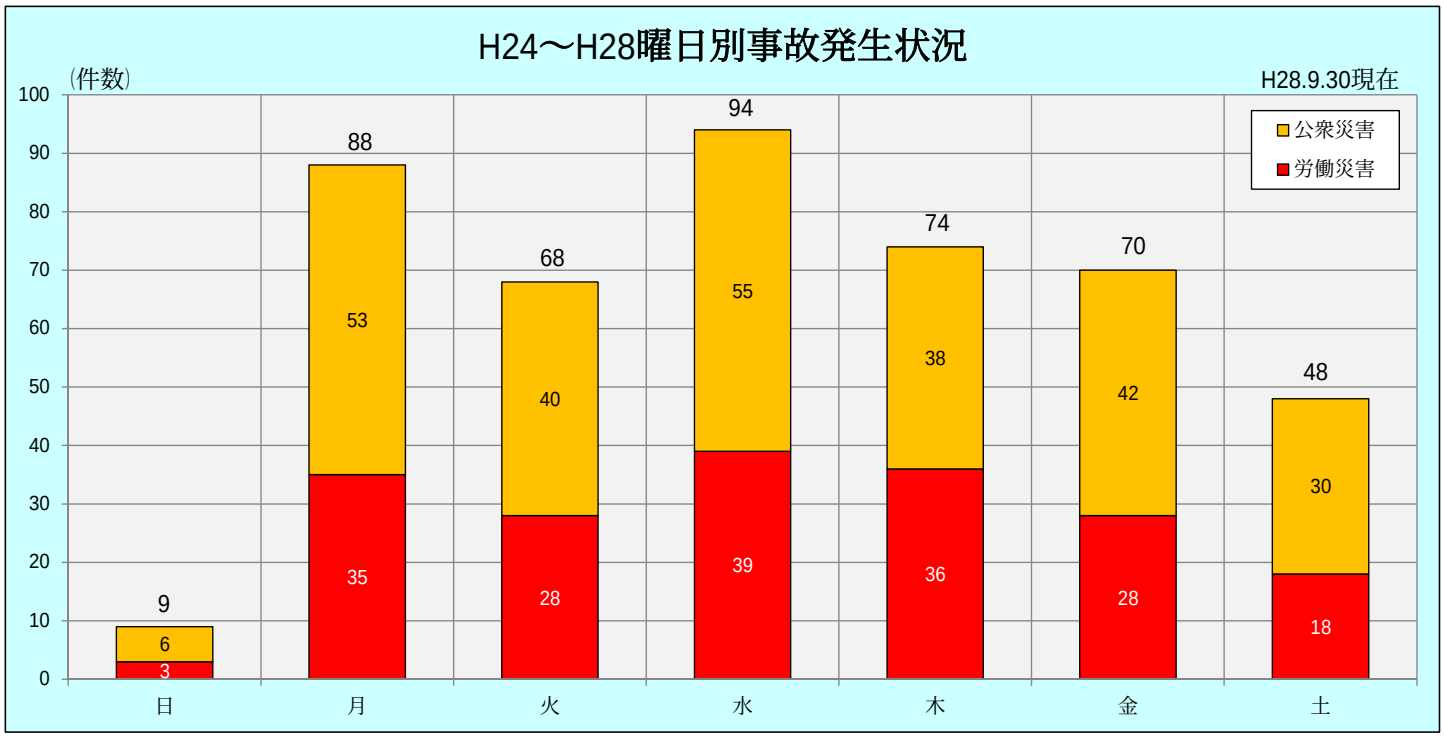
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

曜日別事故発生状況

北陸地整

・H24～28の事故発生件数を曜日別にみると、月曜日、水曜日での事故発生が多い。
・月曜日、水曜日は、労働災害、公衆災害ともに多く発生している。
・土曜日は休日作業で工事全体の稼働が少ないにもかかわらず、事故の発生が多い。
・月曜日、水曜日は公衆災害の発生が特に多い。

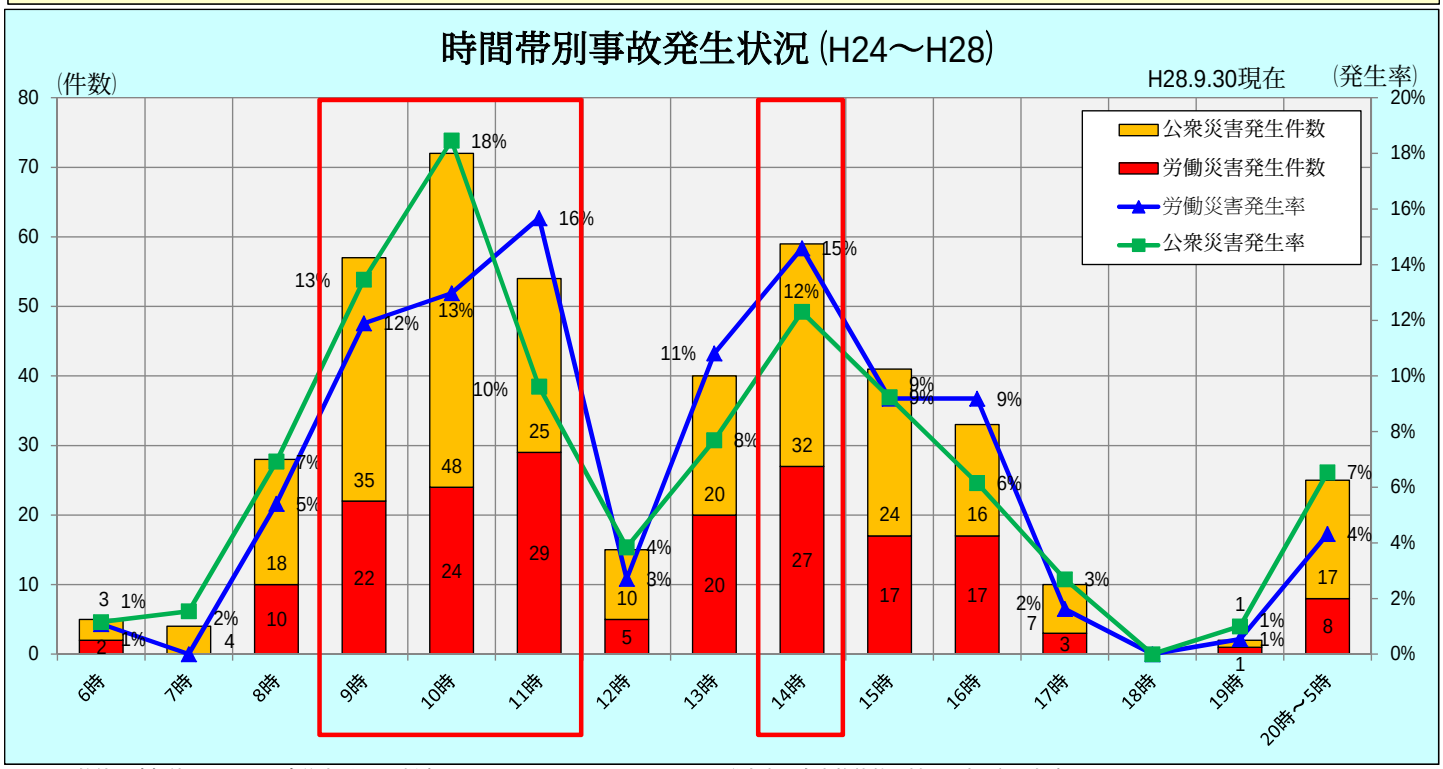


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

時間帯別事故発生状況

北陸地整

・事故の発生を時間帯にみると、9時台から11時台の午前中が多い。
・午後は14時台の発生が多い。
・公衆災害は10時台の発生が最も多く、労働災害は11時台、14時台での発生が多い。

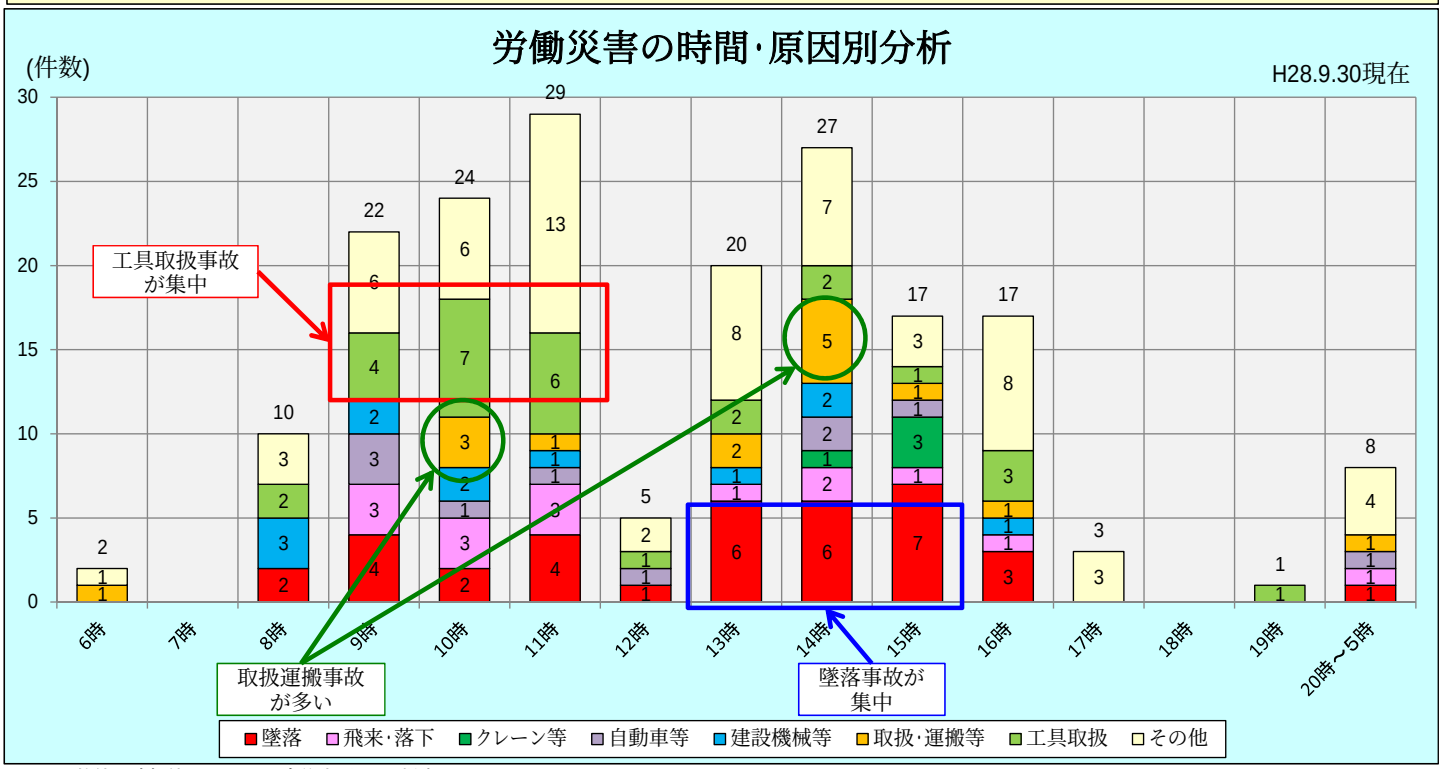


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※発生率は全事故件数に対する時間毎の割合
※北陸地方整備局発注の直轄工事

時間帯・原因別事故発生状況(労働災害)

北陸地整

・H24～28の事故を原因別で見ると、墜落事故は昼食後の１３時～１５時台に集中している。
・工具取扱事故は、午前中に集中して発生している。
・取扱･運搬事故は、１０時台と１４時台に多く発生している。

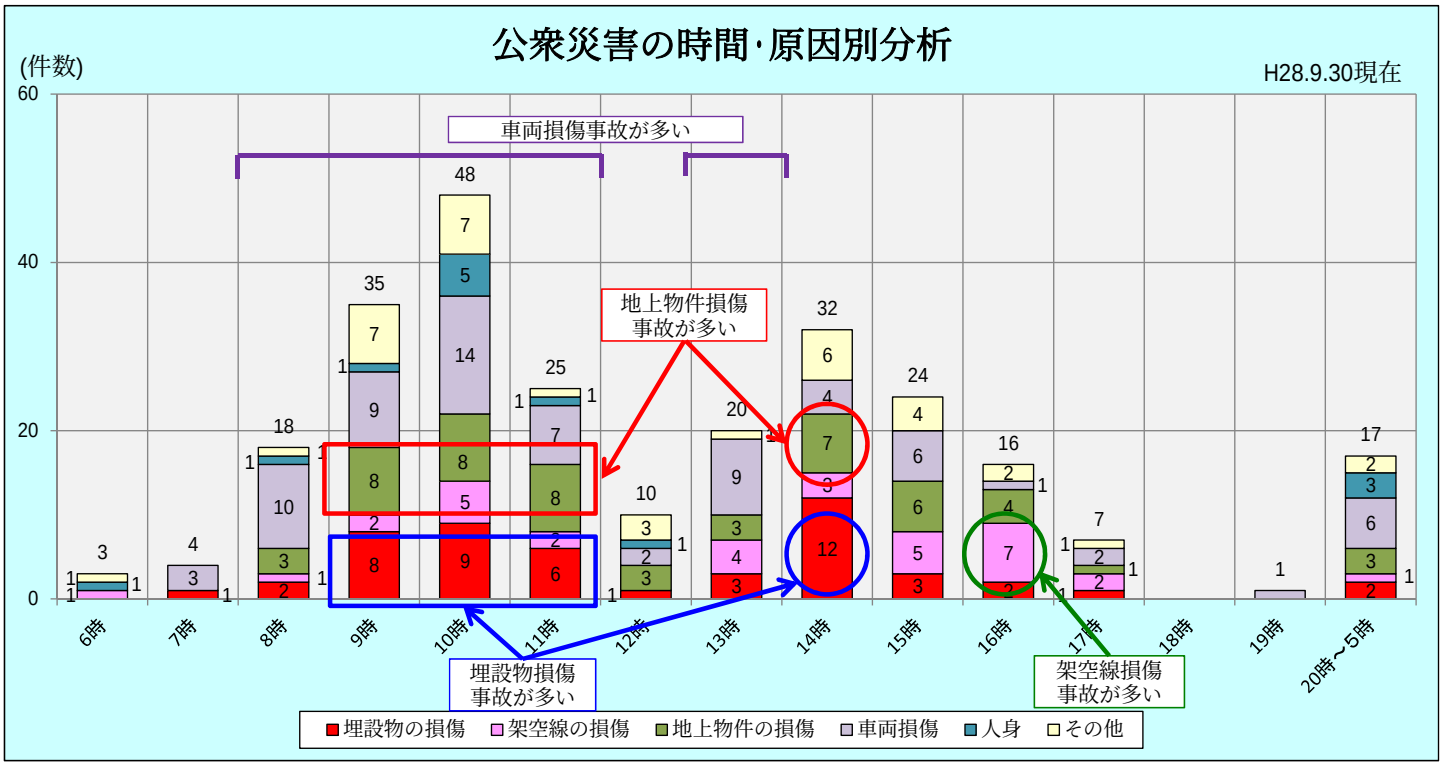


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

時間帯・原因別事故発生状況(公衆災害)

北陸地整

・H24～28の事故を原因別で見ると、埋設物、地上物件は9時～１１時、１４時台に多く発生。
・車両損傷は8時～１１時台と１３時台に多く発生している。
・架空線損傷は１６時台に多く発生している。

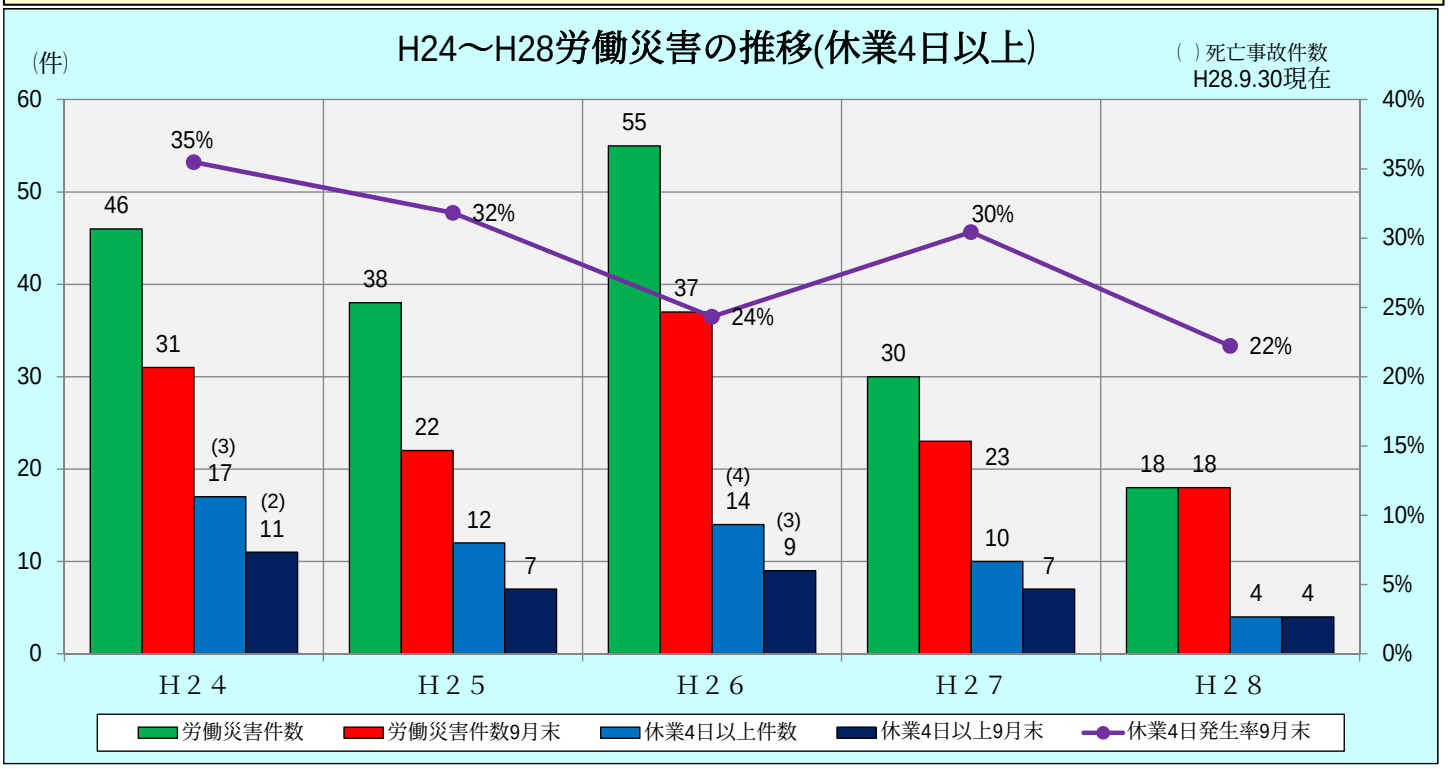


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

休業4日以上の事故発生状況

北陸地整

・9月末で比較すると、休業4日以上の事故発生件数は、H28は4件と過去5ヵ年で最も少ない発生。
・休業4日以上の発生率はH28は22%と過去5ヵ年で最も少なくなっている。

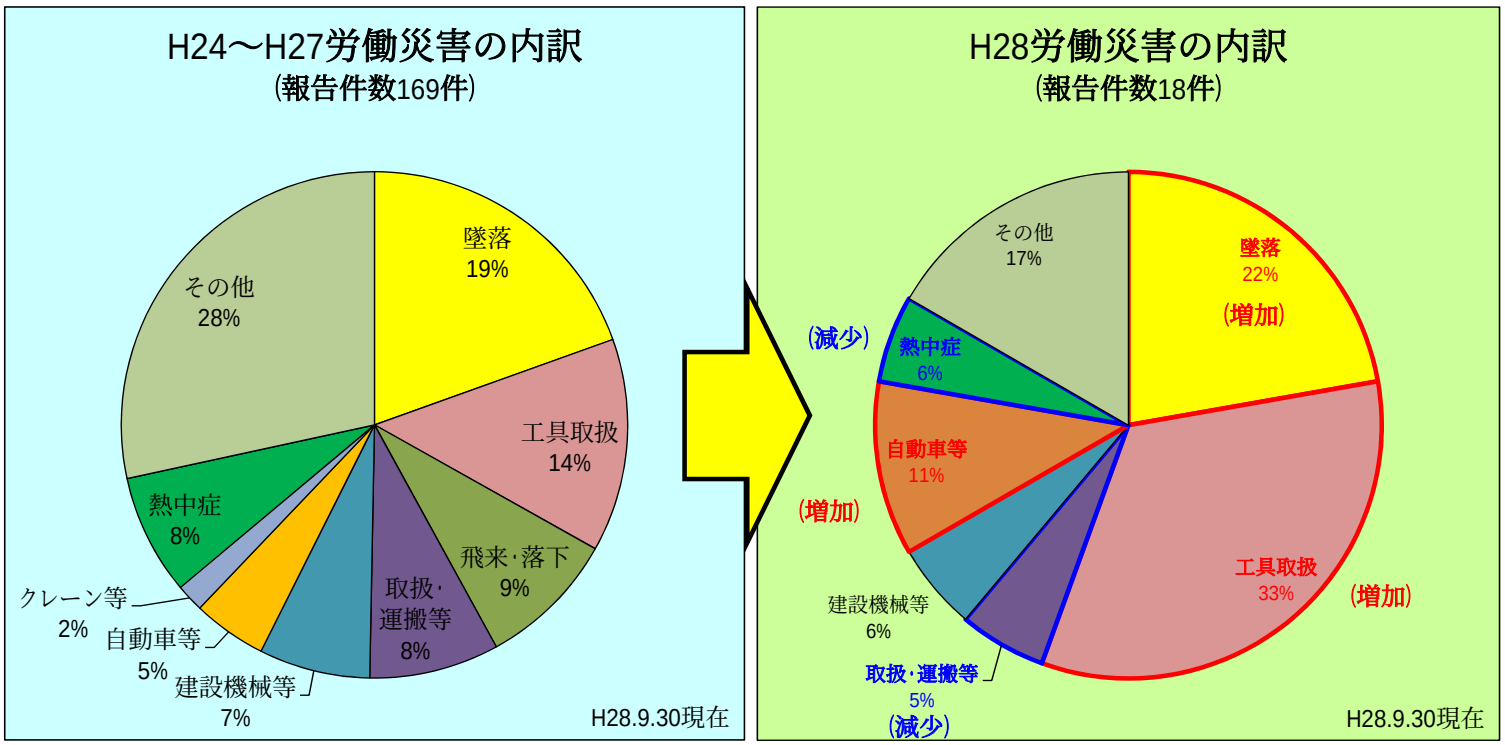


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

労働災害の事故分類別発生割合

北陸地整

・事故分類別の発生割合をH28とH24～H27の合計を比較すると、H28は墜落、工具取扱、自動車等の事故割合が増加し、取扱い運搬、熱中症の事故割合が減少している。
・特に工具取扱の事故割合が大きく増加している。

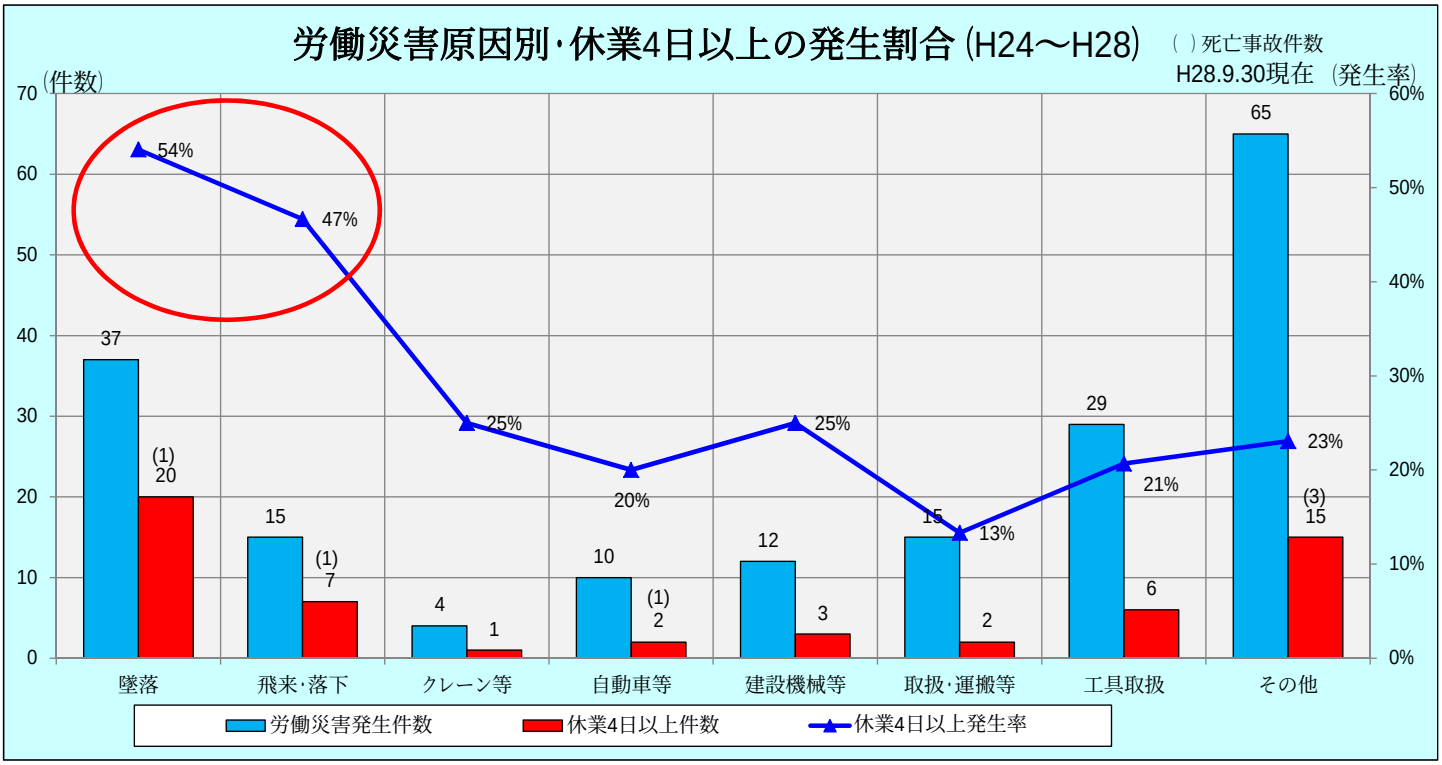


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

労働災害の原因別・重大事故発生状況

北陸地整

・休業４日以上の重大事故の発生状況は、墜落、飛来落下での発生割合が５４％、４７％と高い割合となっている。
・死亡事故は、重大事故発生件数との相関は見られない。

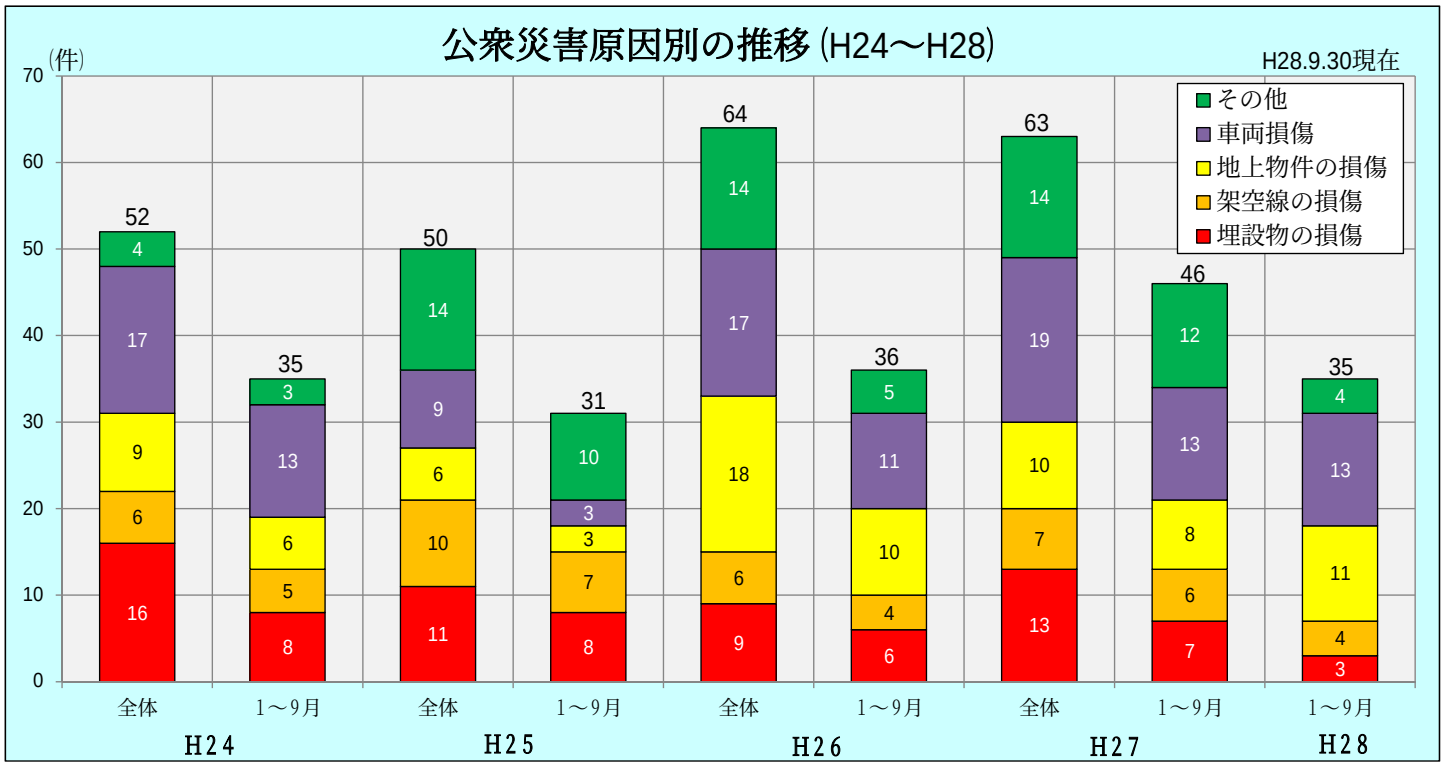


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

公衆災害の発生状況

北陸地整

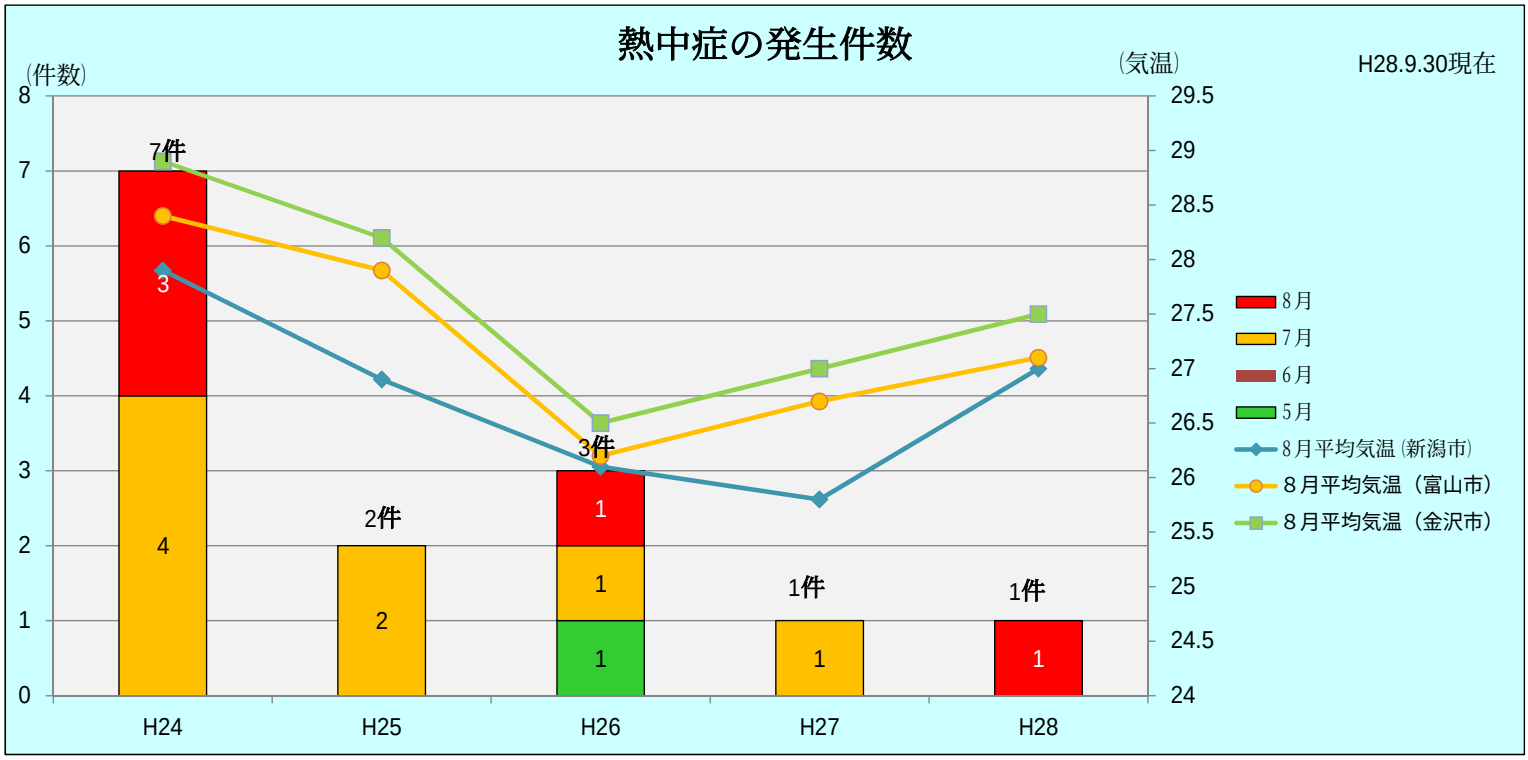
・Ｈ２８の事故件数はＨ２４～Ｈ２７と比較すると、発生件数は昨年同時期より減少しているが、過去５ヵ年とほぼ同じ水準。
・発生原因別では車両損傷、地上物件の事故が多く発生している。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

熱中症の発生状況

・熱中症は、H24に多く発生した後、発生件数は減少している。
・発生は、7月に多く発生している。
・H27，H28はH26と比べ、平均気温が上昇しているが発生件数は減少している。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

3．北陸管内の事故事例

(平成28年1月～8月発生事故より)

カケヤで補助員の手を打つ（人身事故）

北陸地整

工具取扱事故

①日時：平成28年1月6日（水）15：45頃
②工事内容：道路改良工事
③事故内容：木杭打込中に、傾いた杭を直す所にカケヤを振り下ろしたため手を挟まれた。
④被害状況：左手親指と人差し指の間挫創（6針）

【事故発生状況】
　均しコンクリートの止め杭（木杭）打設中、補助員が傾いた杭を直そうとした所に、相方の振り下ろしたカケヤが当たり手を挟まれた。

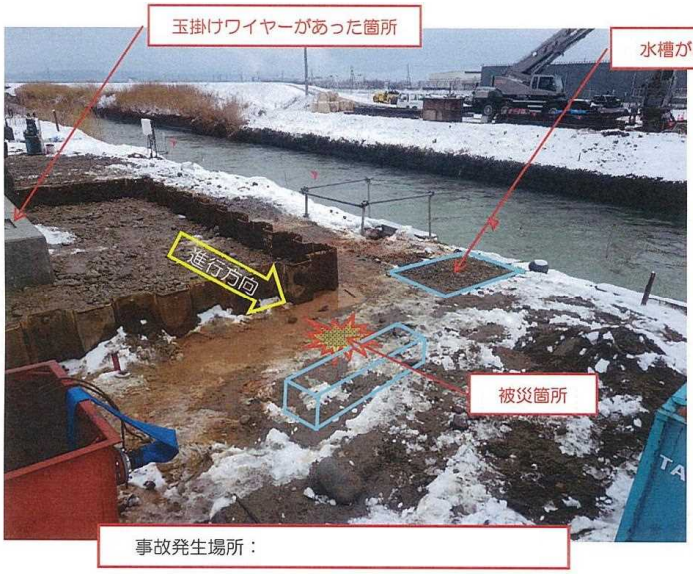
【事故発生原因】
・止め杭（木杭）を打ち込む場所が締め固められた基礎砕石(t-20cm)上で、木杭の入りが悪かった。
・打込作業中、木杭が傾いたため、被災者はとっさに手を出した。
・木杭の打ち手が動作に入っていて、中断できなかった。
・被災者は「待った」と声をかけたが、相方によく聞こえなかった。

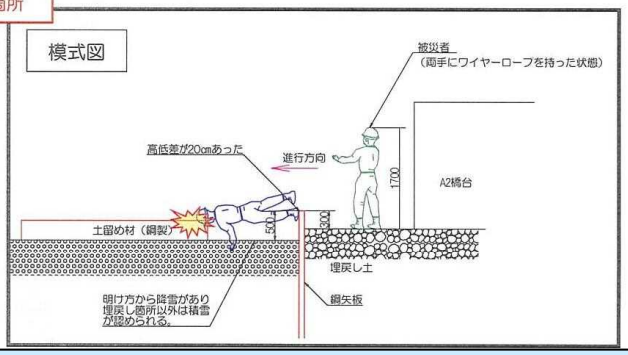
移動中雪で滑って転倒した（人身事故）

北陸地整

その他事故

①日時：平成28年2月1日（月）13：35頃
②工事内容：橋梁架替工事
③事故内容：ワイヤーを取りに行った際、雪で滑って転倒し土留材に頭をぶつけた
④被害状況：顔面挫創(全治2週間)





【事故発生状況】
　埋戻し作業が終了し、不要となった水槽を吊るため、ワイヤーを取りに行き、戻る途中に雪で足を滑らせて転倒し、置いてあった土留材に頭をぶつけた

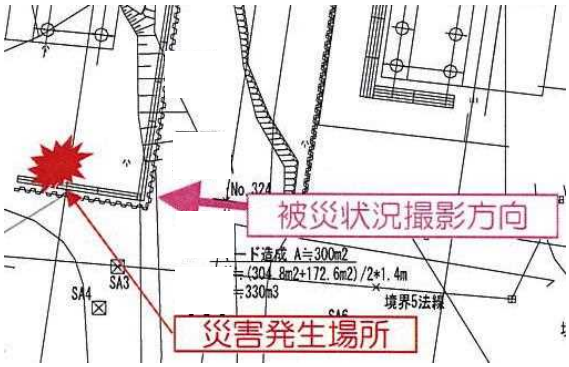
【事故発生原因】
・段差がある箇所(H=50cm)での注意不足
・雨具を着ての作業で動作が緩慢になった
・除雪作業の不徹底により残った雪で滑った
・ワイヤー置場の不徹底により、入らなくて良い場所に入ってしまった

機材運搬中に足を踏み外す（人身事故）

北陸地整

取扱運搬事故

①日時：平成28年5月9日（月）14：45頃
②工事内容：橋梁下部工事
③事故内容：機材を運搬中、仮締切矢板仮設通路から足を踏み外した
④被害状況：右ふくらはぎ部裂傷（8針）



【事故発生状況】
機材(エンジンポンプ27kg)を1人で運搬中、仮締切矢板仮設通路の手摺りに機材が当たり、バランスを崩して通路上から足を踏み外した。

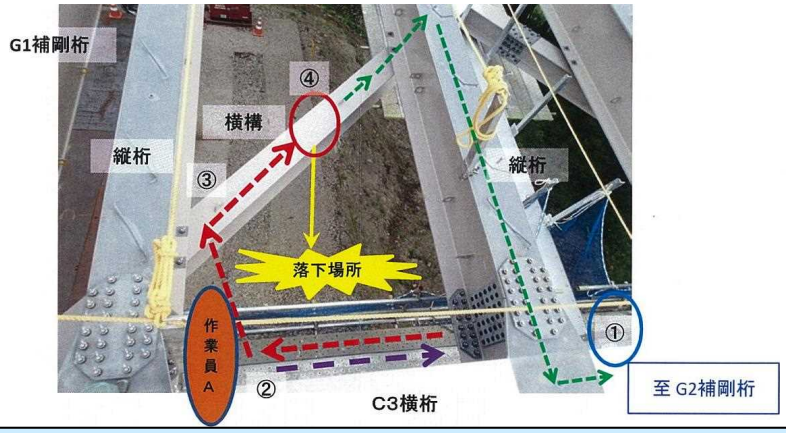
【事故発生原因】
・作業通路上（床板48cm)で、重量物(27kg)を持ったまま1人で移動した。
・設置の際は2人で作業したが、片付けの際は移動距離が短いため1人で作業を行った。

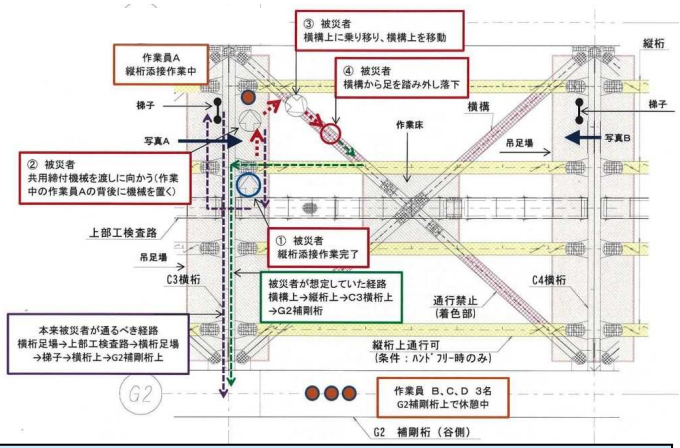
移動中に足を踏み外し転落（人身事故）

北陸地整

墜落事故

①日時：平成28年6月4日（土）9：50頃
②工事内容：橋梁上部工事
③事故内容：作業床から横桁へ移動途中に転落した
④被害状況：多発性肋骨骨折、頸椎骨折、胸椎骨折、右鎖骨骨折等





【事故発生状況】
作業床から横桁へ移動する際に、決められた通路を通らず横構の上を通過する際に6．7m下の地面へ転落した。

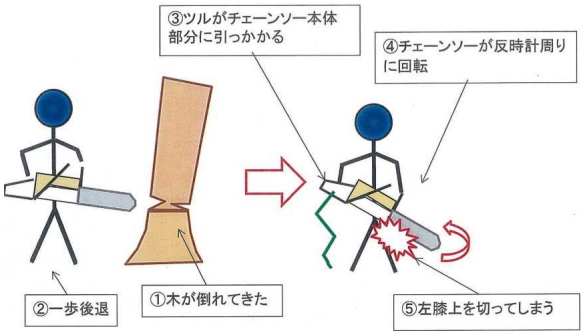
【事故発生原因】
・移動には、検査路若しくは横桁下の作業通路（H=50cm）を通るしかなかったため、近道行動をとった。
・作業員に不安全な近道行動を禁止する様な教育が徹底されていなかった。
・移動時に安全帯を使用していなかった。
・横桁足場から横構に、手摺り(H=1m)を乗り越えて立ち入ることが出来る状況だった。

チェーンソーで自分の足を切る（人身事故）

北陸地整

工具取扱事故

①日時：平成28年7月1日（金）16：50頃
②工事内容：砂防工事
③事故内容：伐木作業中、チェンソーが自分の足に当たった。
④被害状況：左膝部挫創



【事故発生状況】
残土受入地の伐木作業中、切った木が倒れ始めたので後ろに下がった所、つるがチェーンソーに引っ掛かり、反動で刃が左膝に当たった。

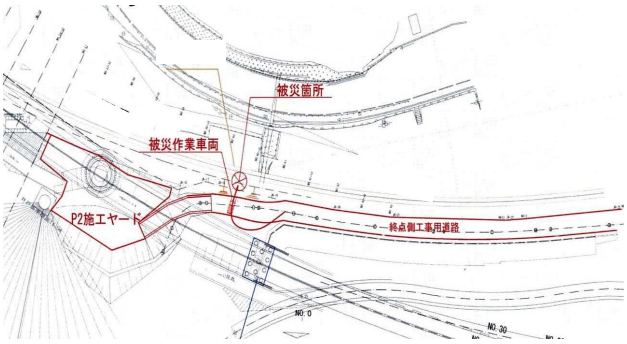
【事故発生原因】
・伐木場所周辺の下草刈りが不十分であった。

工事用道路で方向転換中に転落（人身事故）

北陸地整

自動車等事故

①日時：平成28年8月4日（木）15：40頃
②工事内容：道路改良工事
③事故内容：工事用道路で軽自動車の方向転換中に運転を誤り、線路脇に転落した。
④被害状況：頭部5針縫合



【事故発生状況】
JR脇の工事用道路で軽自動車を方向転換する際に運転を誤り、約3m下の線路脇に転落した。

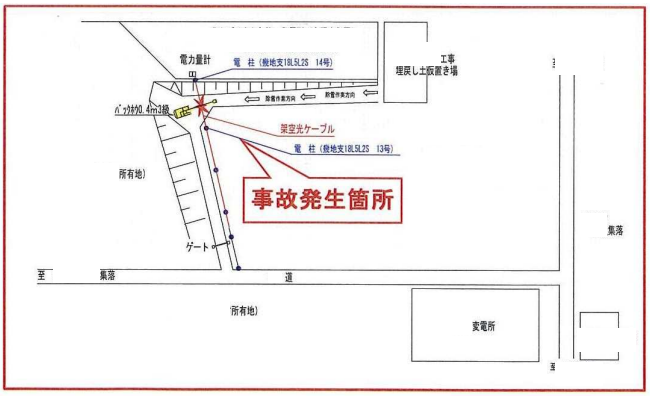
【事故発生原因】
・方向転換する際に、アクセルとブレーキを踏み間違えた。
・線路に近接した箇所で車両の方向転換を行った。

除雪しながら移動中に架空線を切断(公衆災害)

北陸地整

建設機械等事故

①日時:平成28年2月10日(水)15:00頃
②工事内容:砂防堰堤工事
③事故内容:BHが通路を除雪しながら移動中に、上空の光ケーブルを切断
④被害状況:光ケーブル切断



【事故発生状況】
土砂仮置場に置いたBHを移動するため、BH自ら除雪しながら移動する際に、上空の架空線(光ケーブル)に先端を引っかけた。

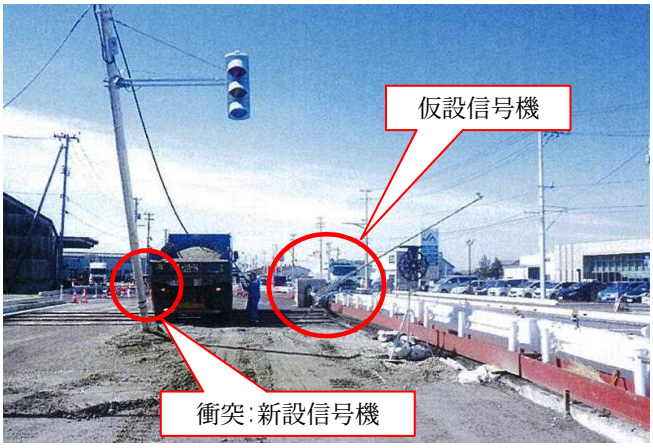
【事故発生原因】
・除雪作業の作業計画書を作成していなかった。
・安全ミーティング等で架空線について話がされなかった。
・架空線が低い位置(H=4.5m)にあったが、防護措置や注意看板がなかった。
・重機が架空線に近接して作業しているが、監視員が配置されていなかった。

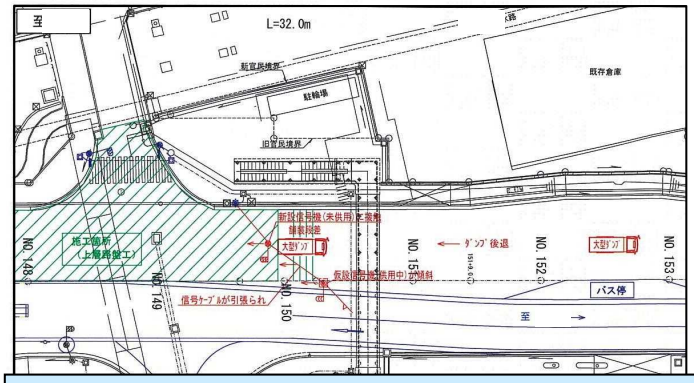
ダンプトラックが信号機に衝突(公衆災害)

北陸地整

建設機械等事故

①日時:平成28年4月5日(火)9:30頃
②工事内容:交差点改良工事
③事故内容:ダンプトラックがバックした際に、新設信号機(未供用)に衝突
④被害状況:新設信号機損傷、ケーブルでつながっていた仮設信号機が転倒





【事故発生状況】
路盤材搬入の10tトラックがバックで進行中、未供用信号機に衝突した。その際にケーブルでつながっていた仮設信号機が転倒した。

【事故発生原因】
・ダンプトラックがバックする際に誘導員による後方確認がなかった。
・信号機周辺に明示する物がなかった。
・運転手の後方確認が不十分だった。

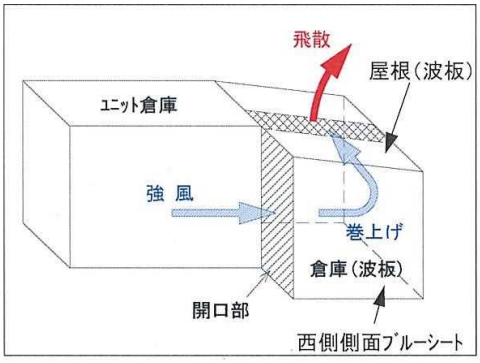
資材倉庫の屋根が強風で飛散(公衆災害)

北陸地整

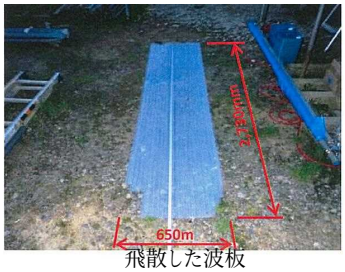
飛来落下事故

①日時:平成28年4月17日(日)15:00頃
②工事内容:トンネル工事
③事故内容:現場で製作した資材倉庫の屋根が強風で飛散し近傍民家に衝突。
④被害状況:なし

現場資材倉庫(波板)
北側開口部および飛散した屋根部



波板飛散概略図



【事故発生状況】
現場資材倉庫(単管、波板張)の屋根波板(塩ビ650*2730mm)1枚が強風で約30m飛散し、近傍民家の外壁に当たった。

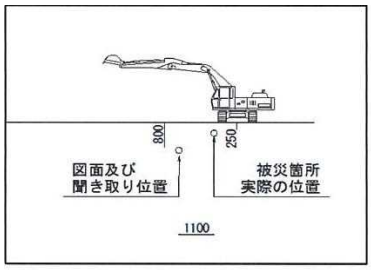
【事故発生原因】
・強風が資材倉庫入り口側より吹き込み、屋根材を持ち上げた。
・強風による資材倉庫の飛散を想定しておらず、ロープ等の補強は行っていなかった。

地下埋設管(用水パイプライン)を破損(公衆災害)

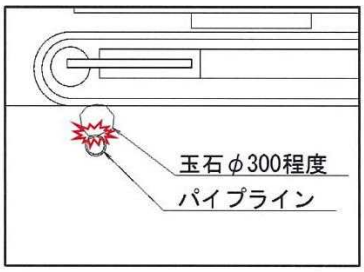
北陸地整

埋設物破損事故

①日時:平成28年6月6日(月)13:10頃
②工事内容:橋梁下部工事
③事故内容:除根した木根を収集中に地下埋設された用水パイプラインを破損した。
④被害状況:パイプライン1本破損



事故概要



事故概要

【事故発生状況】
バックホウで除根した木根を収集中に、地下埋設された用水パイプラインを破損した。
掘削の結果、パイプライン真上にφ30cmの石があり、BHの接地圧で破壊された模様。

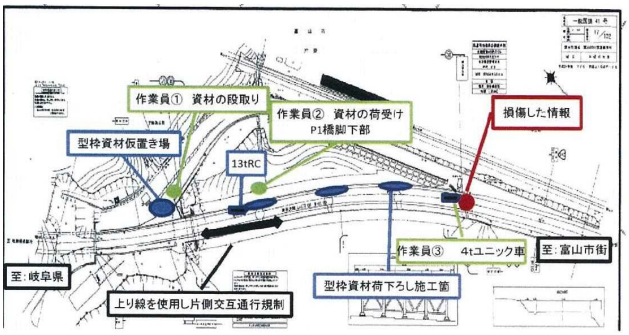
【事故発生原因】
・試掘作業を、除根後に行う予定とし、パイプラインの位置確認作業をしていなかった。
・図面、現地立会を実施して確認した位置、深さが異なっていた。

ユニックのブームで情報版を損傷(公衆災害)

北陸地整

建設機械等事故

①日時:平成28年7月5日(火)9:40頃
②工事内容:橋梁耐震補強工事
③事故内容:ユニックのブームを下ろさず走り、道路情報版を損傷した。
④被害状況:道路情報版下部にへこみ



【事故発生状況】
4tユニック車で橋脚巻立に使用する型枠材の荷下ろし終了後、次の資材を取りに戻る際、ブームを下ろさず走行し、道路情報版の下部(H=5.6m)に接触した。

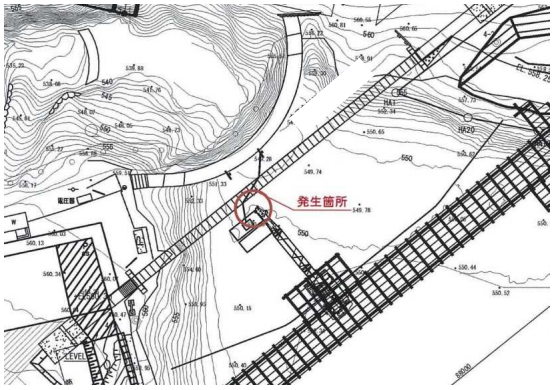
【事故発生原因】
・ブーム移動のリモコン操作を1人で行っていた。
・ブームを格納したと勘違いし、アウトリガーを閉じて走行した。
・架空物に対しての注意喚起等が明示していなかった。

矢板打込中に油漏れ(公衆災害)

北陸地整

建設機械等事故

①日時:平成28年7月21日(木)12:10頃
②工事内容:砂防工事
③事故内容:矢板打込作業中、油圧バイブロハンマーの油圧ホースより油が漏れた。
④被害状況:作動油約5リットル流出



【事故発生状況】
仮設鋼矢板打込のため、導杭(H鋼)を電動油圧バイブロハンマーで打設中、歩道橋を横断していた油圧ホースが損傷し、作動油が約5リットル流出した。

【事故発生原因】
・油圧ホースの劣化による破損
・始業時点検で目視確認は行ったが、劣化に対する確認が十分でなかった。

4. その他

・建設工事事故データベース（SAS）登録
・安全管理優良受注者表彰制度

建設工事事故データベース（SAS）登録

建設工事事故データベース（SAS）の登録を忘れずに

・建設工事事故データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
・休業4日以上の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録（入力）してください。
・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。

ホームページ: https://sas.hrr.mlit.go.jp/

Safety Analysis System

・登録対象となる事故

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域：工事作業現場内及び隣接区域

登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

問い合わせ：企画部技術管理課　技術検査官　M3123

安全管理優良受注者表彰制度

北陸地整

【表彰の主旨】

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に取り組んでいます。

その一環として、平成11年度より受注者による自主的な安全衛生管理体制の整備と現場での安全対策の取組に対して、その安全管理が特に優良で他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰し、工事関係者の更なる安全に対する意識向上を図ることを目的としています。

表彰者は、社内の安全管理体制、工事現場における日々の安全活動、安全教育の充実、安全管理活動の推進と安全衛生管理に対する貢献等が特に顕著な受注者を選定しています。

【H28年度の表彰】

H28年度は、平成27年度に完成した工事の受注者304社の中から特に安全管理に関して優良な16社を選定し、H28年9月16日に表彰を行いました。

【受賞によるメリット】

・安全管理優良受注者表彰の受賞により、翌年の総合評価落札方式における評価として1点が2年間加算されます。

・その他
工事の安全管理の取組を掲載した安全管理優良事例集を平成26年度から作成し、受賞者等に配布及び北陸地方整備局HPに掲載しています。

平成28年度の受賞者

安全管理優良受注者　事例集

北陸地整

http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/anzenkanri.html

平成28年度安全管理優良事例集

株式会社

1．会社としての安全管理重点事項

①安全衛生管理体制の確立
・安全衛生管理の確立・強化と自主安全及び相互安全体制の推進
・危険有害要因の予測を行い、災害防止対策の実施

②安全衛生教育の計画的実施（安全意識の高揚）
・社内、社外教育での安全教育の実施
・災害事例の活用と自現場の見直し

③心と身体の健康づくりの推進
・健康の保持、指導
・健康診断の完全実施

2．現場等における具体的な取組事例

①橋脚耐震補強工事における安全管理上の課題
橋桁での橋脚コンクリート巻立て工事を行う上で、鋼矢板打込・クラムシェル等による掘削作業が行われる。施工基面から橋桁までが近接（H＝4．0m）していることから、重機・クレーンで橋脚及び架設されているガスパイプラインを損傷することが懸念された。

②課題に対して現場で行った安全対策
工学的な管理策として単管・鋼製足場板をクランプで橋桁に固定し、既設橋桁等の防護を講じた。また、標識／警告／管理策として、新規入場者教育での周知・重機作業時の誘導員の配置・注意喚起標識の設置を行った。

3．その他工夫している点

①現場を見渡せる場所にWebカメラを設置し、現場事務所のパソコン又は携帯端末で現場の画像をリアルタイムに確認出来るようにした。
【効果】
現場事務所での打ち合せや新規入場者教育の場面においてパソコンの画像を利用し、わかりやすい説明・教育が可能となった。また、撮影された現場の画像がパソコン・携帯端末でリアルタイムに確認することができ、防犯対策にも利用出来た。

②締切盛土上流部に自動水位観測計・連動式パトライト及びサイレンを設置した。
【効果】
大雨・雪解けによる増水時において設定水位に達した場合、即座にパトライト及びサイレンが自動起動し、現場従事者全員に作業中止・待避を周知できた。

－1－

平成２８年９月
北陸地方整備局